

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	商店街（代表者）	・3月から商店街で大きなイベントも準備されており、4月からは博覧会も開催するため、観光客などかなりの来客が見込まれる。
		百貨店（総務担当）	・紳士服売場では、ジャケットの3.5～4.5万円の商品について「高い」という声があったが、最近ではなくなった。洋食器売場では、5～8万円の商品を自宅用に買う客が現れてきている。
		コンビニ（店長）	・2月は、寒波の影響もあるため、あまり良くならない。3月以降寒さが緩み、引越、転勤、入学などの人の流れが出てくるため、もう少し売上が上昇する。
		乗用車販売店（従業員）	・3月決算期を迎え、客への宣伝効果を含めて、販売量の増大が期待できる。また、相次ぐ新型車の発表で市場景気の回復を期待する。
		乗用車販売店（従業員）	・各社、新型車が出そろうため、市場はある程度良くなる。
		旅行代理店（従業員）	・新年度の旅行パンフレットが出そろう、4月以降の旅行の売出しが始まったが、旅行相談等の出足が順調である。シルパー層の旅行需要はおう盛であり、季節が良くなる春の行楽シーズンには国内外への旅行が相当見込める。
		タクシー運転手	・これから春に向けて、四国八十八か所参りのお寺の仕事も入ってくる。また、異動の時期であり、夜も人が出てくるため、やや良くなる。
		ゴルフ場（従業員）	・シーズン時期ということもあり、2～3か月先の予約は順調に入ってきている。
		住宅販売会社（従業員）	・各銀行の住宅ローンのキャンペーン期間が終了することもあり、焦って商談する客が増加する。
		変わらない	
百貨店（営業担当）	・高額商品を購入するか、安い商品を購入するか二極化しており、中間層の商品が売れない傾向がある。この傾向は、まだまだ続く。		
スーパー（店長）	・食料品や衣料品の販売量は、あまり変わらない状況で推移する。		
スーパー（企画担当）	・チラシによる販促も、顧客の購買意欲を刺激できていない。顧客の購買行動が冷静なため、財布のひもは緩まない。		
コンビニ（エリア担当）	・コンビニは競争激化に伴って、既存店の売上が非常に厳しいものになっており、新規の出店をしても、売上を伸ばすことは難しい状況である。		
衣料品専門店（経営者）	・1月のバーゲンセールは、滑り出しは順調であったが、寒さの影響もあるのか、50%オフに入ったにもかかわらず、来客数が急激に落ち込んでいる。購買姿勢も慎重で、客単価も変わらない。		
家電量販店（営業担当）	・今月については、商品の動きに大きな変化がみられず、現在の状況が続く。		
一般レストラン（経営者）	・飲食に値段を気にせずお金を出す客は限られた人達で、一般の客は、情報誌などで調べて、安くて良いものを探している。なじみ客の来店数も減少している。		
観光型旅館（経営者）	・予約状況から、この3か月はあまり期待できない。タクシーなどに聞いてみても、松山辺りは動きが悪く、道後全体で動きが悪い状況である。		
都市型ホテル（経営者）	・予約状況から見て、良くなっていない。単価の下落傾向は続いており、景気が良くなったという実感はない。		
観光名所（職員）	・施設の改修工事を行っており、来客数の減少は避けられない。		
設計事務所（所長）	・民間の建築は緩やかに増加しているが、来年度の公共の建築工事については、予算的にも非常に少ない見通しとなっている。		
その他住宅〔不動産〕（経営者）	・不動産の値下がりには続いており、売買の動きも活発でないため、同じような状態が続く。		
やや悪くなる	一般小売店〔酒〕（販売担当）	・飲料業界、業務用酒類卸業界では、依然デフレ傾向が継続している。	

		百貨店（売場担当）	・中心商店街にあったスーパーが昨年の秋に撤退し、1月末には映画館も閉館となり、ますます中心商店街への来客数は減少する。
		コンビニ（経営者）	・競合店の出店が見込まれるため、売上が厳しくなる。
	悪くなる	スーパー（店長）	・安くても売れないため、更に価格が下落する。また、競合店の出店が続き、更にデフレ傾向が強まる。
企業 動向 関連	良くなる		
	やや良くなる	食料品製造業（従業員）	・春の新品種が発売されるため、売上が増加する。
		輸送業（役員）	・輸送関係の貨物量は、前年並みであるが、荷主回りをしていいる営業マンや同業者の幹部の話を総合すると、若干明るさがでてきている。
		通信業（営業担当）	・個人消費が一段と伸びるとの強気の声を、量販店や大型スーパーの販売マネージャーから聞くことが多い。
		不動産業（経営者）	・最近、市内中心部の物件価格が上昇している。また、需要も増加している。住宅地については、横ばい状況だが、今後、投資用あるいは事業用の不動産物件に対する需要が増加してくる。
		公認会計士	・異業種交流の新年会に3カ所ほど出席し経営者と話したが、経営者が非常に明るくなってきており、設備投資に前向きに検討している企業が非常に多くなっていることから、景気は上向き状態にある。
	変わらない	輸送業（支店長）	・原油価格の更なる高騰で、石油元売りから軽油値上げの要請があり、2月から数円上がるため、経営環境は厳しくなる。
		広告代理店（経営者）	・地元の得意先の多くは、県外大手資本との競争が厳しいため広告予算の削減が多く、全体としては変わらない。
	やや悪くなる	電気機械器具製造業（経営者）	・同業者などと意見交換をしても、民間の大企業でも電気機械の設備を抑えており、見通しが立たない状況である。
		建設業（総務担当）	・地場建設業者が参加できる公共工事は、件数、金額とも回復の見込みはない。
	悪くなる	建設業（経営者）	・今後は、ますます受注競争が激しくなり、その分、受注金額も厳しくなる。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（支店長）	・年度末は、人の動き、採用の動きは非常に活発になるため、雇用状況としては非常に活性化する。
		求人情報誌製作会社（従業員）	・求職者数の減少は、短期的な状況であり、今後、求人数、求職者数共に増加する。
		職業安定所（職員）	・全体的な求人数の増加が見込まれ、また、1社あたりの採用予定人数も増加の傾向にある。
		職業安定所（職員）	・新卒者を含み、多様な業種で採用の動きが出てきた。
	変わらない	人材派遣会社（支店長）	・大口顧客からの派遣料金の値下げ要求が相次いでいる。
		職業安定所（職員）	・新規求職者数は、事業主都合による退職者、在職者、パート求職者などが増加したものの、自己都合退職者、無業者などが減少したため、前年同月と比べて5か月ぶりに減少した。有効求職者数は、前年同月と比べて5か月連続で増加するなど、高止まりで推移している。
		民間職業紹介機関（所長）	・求人が増加している業種もあるが、全体的に見た場合には求人数はほぼ横ばいである。地方まで経済波及効果が及ぶのは、もう少し先である。
	やや悪くなる	求人情報誌製作会社（編集者）	・新卒は、比較的好調に推移するが、即戦力採用の場合、好景気のおおりで、優秀な人材の確保が難しくなっている。
		新聞社 [求人広告]（担当者）	・新たな建物や出店の情報がほとんど聞かれず、既存の地元企業の力も落ちているため、将来展望が開けない。
	悪くなる	-	-